

令和2年度
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

1 日 時	令和2年7月13日（月） 午後1時30分～午後4時00分
2 場 所	教育委員会室
3 議 題	(1) 令和2年度における点検・評価の対象及び方法について (2) 各施策についての点検・評価 (3) 今後のスケジュールについて (4) その他
4 資 料	次第、さいたま市教育行政点検評価委員会設置要綱、座席表、出席者名簿、点検評価委員会審査日程、令和2年度教育委員会の点検・評価報告書（案）、平成31年度教育行政方針
5 出 席 者	細淵富夫委員長、橋本正晴委員、岡野育広委員 （関係所管出席者）高木教育総務課長、渋谷学校施設課長、内田学事課長、清水教職員人事課長、山浦指導1課長、内河特別支援教育室長、山本高校教育課長、小椋健康教育課長、玉川教育研究所長、森館岩少年自然の家管理係長 （事務局）野津教育政策室長、竹内教育政策室長補佐、瀧山教育政策室主幹、河地教育政策室主幹
6 欠 席 者	0人
7 議 事	<p>※会議を非公開とはしないことを決定した。傍聴者なし。</p> <p>議題（1）令和2年度における点検・評価の対象及び方法について 事務局から、令和元年度における点検・評価の対象及び方法について説明後、各委員へ意見を求めた。 ※意見なし 事務局の原案のとおり、評価の対象は「平成31年度教育行政方針」に記載された60事業とする。 評価の方法は、「令和2年度教育委員会の点検・評価報告書（案）」における教育委員会の自己点検・評価の記載に沿って各所管課から説明を行い、それに対して委員が意見を述べる、という方法で了承された。</p> <p>議題（2）各施策についての点検・評価 令和2年度教育委員会の点検・評価報告書「Ⅱ 教育委員の活動状況（令和元年度）」及び「Ⅲ 点検・評価の結果（令和元年度事業対象）」において、「1 12年間の学びの連続性を生かした『真の学力』の育成」の16事業と「5 『未来を拓くさいたま教育』推進のための基盤整備」の15事業について、各所管課から説明を行い、各委員へ意見を求めた。</p>

【説明】

【Ⅱ 教育委員の活動状況（令和元年度）】（教育総務課）

【主な意見及び質疑】

なし

【説明】

【Ⅲ 点検・評価の結果（令和元年度事業対象）】

< 1 12年間の学びの連続性を生かした「真の学力」の育成 >

- (1) 確かな学力の育成
 - (2) アクティブ・ラーニングの推進
 - (3) 全国学力・学習状況調査、さいたま市学習状況調査の活用
 - (4) 教育の情報化推進事業の充実
 - (5) 保育所・幼稚園等・小学校の連携
 - (6) 「さいたま市小・中一貫教育」の推進
 - (7) 中・高の連続性を持った教育の推進
 - (8) 特別支援教育の推進
 - (9) 特別支援学級の全校設置
 - (10) 通級指導教室の拡充
 - (11) 市立高等学校「特色ある学校づくり」事業の推進
 - (12) スクールアシスタント配置事業の推進
 - (13) 子ども読書活動推進事業の推進
 - (14) 学校図書館を活用した読書活動の推進
 - (15) ネットトラブル等防止のための情報モラル教育の推進
 - (16) 館岩少年自然の家を活動拠点とした自然体験活動の推進
- ◆教育委員会の自己評価（教育政策室）

< 5 「未来を拓くさいたま教育」推進のための基盤整備 >

- (46) 学校における働き方改革の推進
- (47) 人づくり、人材確保改革の推進
- (48) 教員の資質能力の向上
- (49) 奨学金返済支援制度の創設
- (50) 部活動指導員配置事業の推進
- (51) 大学連携コラボレーション事業の推進
- (52) 学校における安全教育・安全管理の充実
- (53) WHO セーフスクールの取組、成果の普及
- (54) 自転車免許制度の全面実施
- (55) 過大規模校等教育環境整備事業の推進
- (56) 学校のリフレッシュ計画等の推進

令和2年度
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

- (57) 学校トイレの洋式化等の推進
- (58) 与野本町小学校複合施設整備事業の推進
- (59) 小学校給食調理業務及び学校用業務の委託化
- (60) 学校給食費の公会計化に向けた準備

◆教育委員会の自己評価（教育政策室）

【主な意見及び質疑】

(1) 確かな学力の育成

(岡野委員)

- ・新聞を活用した教育（N I E）の推進では、様々な新聞を活用し、考え方や価値観の多様性を味わうなど、読解力をはじめ様々な力を育成してほしい。

(細淵委員長)

- ・「よい授業」の調査結果を見ると、よい成果を挙げていることがわかる。『授業スキル』の因子の点数が下がっているようだが、見解を説明してほしい。

(指導1課)

- ・すでに授業のめあて等が明確に示されている状況であったため数値の向上が見られなかったものと考えてはいるが、大切な要素なので改めて学校に指導していく。

(細淵委員長)

- ・「よい授業」の推進について、引き続き、調査結果の詳細な分析を行い、学習指導の工夫改善に役立ててほしい。

(2) アクティブ・ラーニングの推進

(岡野委員)

- ・教育フォーラムにおいて研究成果を広く周知するなど「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて教員の指導力の一層の向上に努めてほしい。

(4) 教育の情報化推進事業の充実

(岡野委員)

- ・タブレット型コンピュータの整備が加速度的に進んだ。タブレット型コンピュータの整備について、現在の状況、今後の見通しを説明してほしい。

(教育研究所)

- ・現在は約1万1千台が導入されており、9月には8千台追加整備される見通しである。コンピュータ1台当たりの児童生徒の人数は7.3人となっている。
- ・この度G I G Aスクール構想により、約8万台を3月までに整備する予定である。3月には全校への1人1台タブレットの導入に向けて準備を進めている。

(細淵委員長)

- ・I C T環境が構築され、児童生徒が日常的にI C Tを活用できる状況はとてもよいことである。タブレットの整備だけでなく、活用する教師側の指導力をどのようにつけていくのか、例えば、教員のI C T活用指導力の向上のための数値目標を設定するなど、教育の情報化に向けた手立てが必要である。

令和2年度
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

(8) 特別支援教育の推進

(細淵委員長)

- ・担当教員の免許状の所持率や免許の取得状況等について説明してほしい。

(特別支援教育室)

- ・特別支援学級では、必ずしも免許状を有していなければならないということではないが、免許法認定講習等を開催するなどしてできる限り取得できるような支援を行っている。

(9) 特別支援学級の全校配置

(橋本委員)

- ・障害のある児童が入学した際の昇降機の設置等、児童生徒一人ひとりへの配慮が適切に行われるよう、予算の確保を含め、関係課と一層の連携を図る必要がある。

(橋本委員)

- ・特別支援学級の配置が着実に進んでいる。児童生徒作品展等、児童生徒の交流についてどのように取り組まれているか、説明してほしい。

(特別支援教育室)

- ・交流及び共同学習については引き続き積極的に進めていき、具体的な交流及び共同学習の場面においては、それぞれの児童生徒の障害の状態や特性等を考慮して、担当者間で情報を交換しながら計画的に進めていけるように指導していく。

(橋本委員)

- ・児童生徒の社会性をはぐくむよう努めてほしい。

(13) 子ども読書活動推進事業の推進

(細淵委員長)

- ・小学生の不読率が下がっていることが見て取れるが、調査結果を考慮し、児童生徒が読書の楽しさや大切さを知り、自ら読書習慣を身に付けられるよう、読書に親しむ方策を検討してほしい。

(16) 館岩少年自然の家を活動拠点とした自然体験活動の推進

(橋本委員)

- ・新型コロナウイルス感染症により自然体験活動の実施が難しい状況ではあるが、代替となる自然体験活動の設定や豊かな感性をはぐくむ機会の充実などの検討が必要である。

(46) 学校における働き方改革の推進

(岡野委員)

- ・先生方の満足感、負担感について、どのようにして負担を軽減していくのか聞かせてほしい。

(教職員人事課)

- ・学校における働き方推進プランを策定し、人的な配置、業務量の削減等を示した。両面から負担軽減を考えていく。

(細淵委員長)

令和2年度
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

- ・業務改善に関してグッドジョブ賞を受賞した学校の取組を教えてください。また、電話対応を勤務時間内にしたことによって教育委員会の受電件数の状況はどうだったか説明してほしい。

(教職員人事課)

- ・グッドジョブ賞は3校。事例でいうと、学校行事の写真販売の仕組みを見直したり、学校安心メールを活用し、学校評価の提出や欠席連絡等を行えるように工夫したりした。また、受電件数については非常に少なかった。電話対応に関する取組については、引き続き効果検証を行っていく。

(細淵委員長)

- ・学校における電話対応に関する取組や学校業務改善表彰制度の実施等、業務改善に向けた様々な取組がなされている。引き続き、学校における働き方改革を推進し、魅力ある学校づくりに努めてほしい。

(47) 人づくり、人材確保改革の推進

(橋本委員)

- ・大学生だけでなく、高校生を含めて、教職という仕事に興味・関心を高められるよう、様々な行事や体験等を通して学校の様子を見てもらう機会を増やしていくとよい。

(49) 奨学金返済制度の創設

- ・一定の条件とはどのような条件か説明してほしい。

(学事課)

- ・大学卒業後、さいたま市に在住し、市民税を収め、かつ滞納がないこと。加えて、大学等を正規の修業期間内に優秀な成績を修め卒業していることなど、すべての要件に該当した場合。

(50) 部活動指導員配置事業の推進

(岡野委員)

- ・部活動指導員の配置について、現状及び今後の配置について説明してほしい。

(指導1課)

- ・昨年度は、希望校の半分の配置となった。部活動の引率や単独で指導を行うといった成果がみられた。今年度は希望校100%を目指し、配置していきたい。

(細淵委員長)

- ・指導員の確保について、苦勞していることや課題等はあると思うが、指導員の専門性、指導力等について十分に把握しながら、引き続き指導員の確保に努めてほしい。

(54) 自転車免許制度の全面実施

(岡野委員)

- ・自転車乗車用ヘルメット着用の推進について、着用率が上昇している。引き続き、着用率の向上につながる取組や安全に対する意識の醸成に取り組むなど、安全指導の徹底を図ってほしい。

令和2年度
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

(60) 学校給食費の公会計化に向けた準備

(橋本委員)

- ・学校現場における学校給食費の徴収業務を削減し、学校職員の負担軽減を図ることはよいことである。給食費の未納に関しては、教育委員会が行っていくようにしたということか。

(健康教育課)

- ・そのとおり。

(細淵委員長)

- ・教育委員会の業務量が増えるのではないか。

(健康教育課)

- ・実施に当たっては、職員の増員等が必要な状況である。

(橋本委員)

- ・事務局の業務量が増え大変ではあると思うが、公会計化に向けて準備を進めてほしい。

議題(3) 今後のスケジュールについて

事務局より、本日から9月にかけて計3回の会議を開催し、9月定例会期間中に議会へ報告書を提出、その後、各区の情報公開コーナー、市の公式ホームページにて報告書を公開する旨を説明した。

【各委員】了承

<閉会> 16時00分 閉会

【問合せ先】教育委員会事務局管理部教育政策室 829-1626